

【Ⅱ ふたばステージ／東日本大震災・原子力災害伝承館／とみおかアーカイブミュージアム】

「浜通り地方のPRと、観光振興を図り、体験ツアーを盛り込み地域とスポーツが一体となった地域活性化（スポーツツーリズム）のモデル地区を目指す」「震災から14年を迎え、交流人口を増やし、更なる復興と風評被害の払拭の一助とする」を目的に設定してあります。

つきましては、東日本大震災及び原子力災害のその後の現状と復興の様子を知り、未来への展望を抱き、考える機会として頂けるよう、ふたばステージでは「東日本大震災・原子力災害伝承館／50分程度」の体験ツアーをご提案いたしますので、試合組み合わせのスケジュールに応じて、参観・体験をして頂きたいと思っております。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、蜜を避けるために施設・見学の時間帯を調整させて頂きましたが、スケジュールにゆとりがある場合には、各チーム毎に【関連施設等】の参観・見学もして頂けますようお願いいたします。



## 東日本大震災・原子力災害伝承館

地震・津波・原発事故・風評被害などの未曾有の複合災害の記録や教訓、復興のあゆみを国内外に伝え、将来へ引き継ぐための施設です。（9:00～17:00）

◆入場料 通常：大人600円 小・中300円です。

※減免申請書を添付しましたので、希望される学校は、お手数でもお手続き（2週間前まで）を宜しくお願い致します。クラブチームは減免対象となりません。

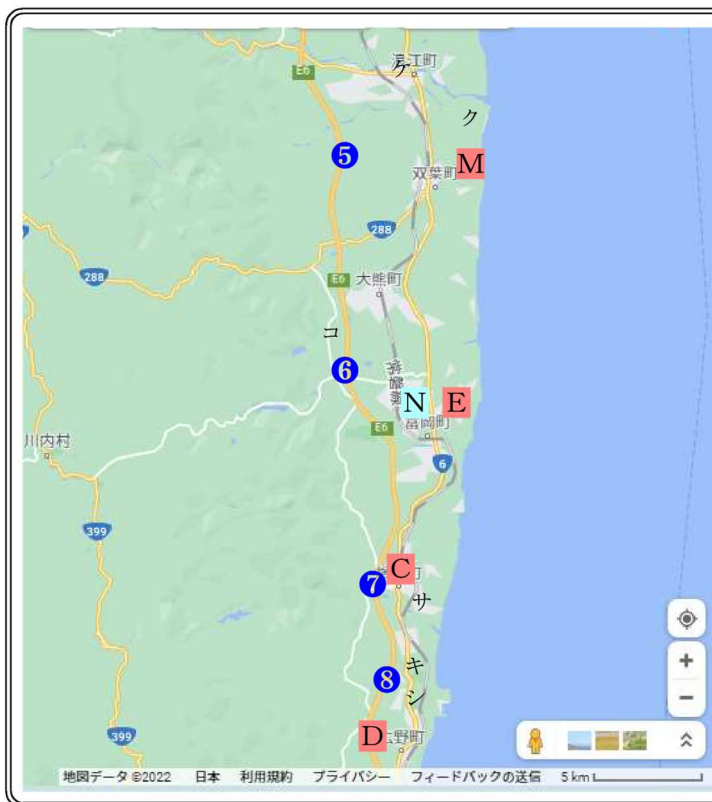
〒979-1401 福島県双葉郡双葉町中野高田 39  
TEL：0240-23-4402

## とみおかアーカイブミュージアム

富岡町は震災及び原子力災害では、大きく影響を受けた町。震災遺産など430点の資料を展示。町にどのような変化が起きたのかを伝える施設です。3D映像と現実空間を組み合わせたMRで疑似体験できます。

※入館無料（9:00～17:00）

〒979-1151 福島県双葉郡富岡町本岡王塚 760-1  
TEL：0240-25-8644



### M 東日本大震災・原子力災害伝承館

TEL：0240-23-4402

【常磐自動車道でお越しの場合】

- ⑤ 磐城双葉 IC から約 12 分
- ⑥ 磐城富岡 IC から約 30 分
- ⑦ ならはスマート IC から約 40 分

### N とみおかアーカイブミュージアム

TEL：0240-25-8644

【常磐自動車道でお越しの場合】

- ⑥ 磐城富岡 IC から約 10 分
- ⑦ ならはスマート IC から約 25 分
- ⑧ 広野 IC から約 35 分

【主な会場】

- C：楡葉町総合運動野球場  
※開会式会場  
双葉郡楡葉町大谷上ノ原 73-67
- D：広野町総合グラウンド  
双葉郡広野町中央台 1-5
- E：富岡野球場  
双葉郡富岡町小浜 477-1

キ：J ヴィレッジ

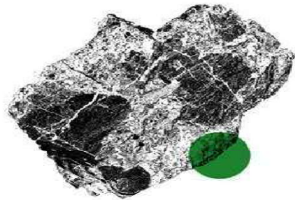


／【住所】〒 979-0513 福島県双葉郡檜葉町山田岡美シ森 8

TEL：0240-26-0111

福島県浜通り南部、双葉郡檜葉町、広野町に跨がって立地する、サッカー等を対象としたスポーツトレーニング施設。日本サッカー界初のナショナルトレーニングセンターである。サッカー施設 J ヴィレッジ（福島県檜葉町、広野町）を主会場にいわき市など県沿岸南部の周辺地域の比較的涼しい地域のグラウンドでサッカー男子の 2024 年（令和 6 年）夏季大会（インターハイ）ハイを開催。

サ：【「大地とまちのタイムライン」檜葉町×東京大学総合研究博物館連携ミュージアム】



檜葉町×東京大学総合研究博物館  
連携ミュージアム

大地とまちの  
タイムライン

Naraha UMUT Collaborative Museum  
A Timeline of the Earth and the Town

【住所】〒 979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂 5-4

（檜葉町コミュニティセンター 1 階）

TEL：0240-25-2492

檜葉町と東京大学総合研究博物館双方が所蔵する豊富な資料の中から、「危機～再生～未来創造」をキーワードに、地球の誕生から現代に至る資料を展示いたします。

幾多の危機をむかえながらも、地球そして人類がそれを乗り越えてきたことを知ることで、これからの檜葉町の未来を創造するための糧となる施設を目指してまいります。

※ 入館無料（9：00～16：30）

サ：【ここなら笑店街（しょうてんがい）】



【住所】〒 979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字中満 256

TEL：0240-23-6771

商業施設「ここなら笑店街」は、コンパクトタウン「笑（えみ）ふるタウンならは」の中にあり、東日本大震災からの復興のシンボルとして、平成 30 年にオープンし、スーパーなど 10 店舗が入居しています。「みんなの交流館 ならは CANvas」では、震災・復興に関するパネル展示や、イベントも開催しております。

ク：震災遺構・浪江町立請戸小学校）／【住所】〒 979-1522 福島県双葉郡浪江町請戸字持平 56

TEL：0240-23-7041



東日本大震災で福島県内唯一の震災遺構として浪江町が整備し、津波被災の爪痕が残る校舎で、児童の避難状況を時系列に紹介したパネルなどを通して教訓を後世に伝えていく施設です。

請戸小は海岸から約 300 メートルに位置し、津波は 1 階部分を全て押し流し、2 階の床にまで達した。津波到達時刻の午後 3 時 37 分で止まった時計、はがれ落ちた天井や壁、泥まみれのパソコンなどをそのまま展示しています。

※ 入館料：中学生（100 円）、「団体」は 20 名以上の場合で、（50 円）団体の方は、事前予約は必要になります。

コ：大熊町町交流ゾーン（大熊町）／【住所】〒 979-1306 福島県双葉郡大熊町大川原南平 1207-1



町内大川原地区に整備していた大熊町町交流ゾーンの施設で

す。交流施設外観商業施設は令和 3 年 4 月に先行してオープンしていましたが、残る交流施設と宿泊温泉施設が完成。大熊町内に待望の交流拠点が生まれました。

・商業施設【おおくまーと】・交流施設【link る大熊】  
・宿泊温泉施設【ほっと大熊】

シ：【トロピカルフルーツミュージアム】／〒 979-0402 福島県双葉郡広野町下北迫大谷地原 57-1

TEL：0240-27-2131



震災、原発事故からの農業、地域再生に向け、国産バナナの栽培に挑戦しています。

バナナの苗に氷河期を疑似体験させるという新技術を応用しています。

※ 入場無料（9：00～16：00）

※ 前予約は試食可能。